

建学の精神

青山学院の教育は、永久にキリスト教の信仰に基づいて、行わなければならない。

青山学院教育方針

青山学院の教育は キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き 真理を謙虚に追求し 愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

Messages



青山学院理事長
堀田 宣彌



青山学院院長
山本 与志春

「AOYAMA MIRAI VISION」⇔「Be the Difference」

1874（明治7）年ドーラ・E・スクーンメーカー宣教師が播いた一粒の種が、今では幼稚園から大学院まで約2万4千名の園児・児童・生徒・学生を擁し、39万人の卒業生を輩出する総合学園となりました。そして昨年、青山学院は創立150周年を迎えました。

創立151周年となる本年度、青山学院は次のステージに向け、新たな時代を創造する第一歩を踏み出します。

開学以来の「青山学院の教育は、永久にキリスト教の信仰に基づいて、行わなければならない」との建学の精神を堅持し、これまでの伝統の上にさらなる英知を築き上げて、「サーバント・リーダーの育成」をさらに進めるため、30年後の青山学院の未来像「AOYAMA MIRAI VISION」と、そこからバックキャストした今後10年でやるべきこととして「AOYAMA VISION 160」を策定し、その実践に全力で注力してまいります。

「世界は一人ひとりの力で変えられる」テーマ「Be the Difference」を掲げ、青山学院から世界に羽ばたいていく若きサーバント・リーダーの育成をさらに推し進めてまいります。これからの青山学院にご注目ください。

すべての人と社会のために

青山学院は創立150周年を迎え「AOYAMA VISION 160」「すべての人と社会のために未来を拓くサーバント・リーダーを育成する総合学園」を掲げました。

このVISIONを実現するために、私たちは「キリスト教教育」を根幹に据えつつ、「国際教育」「先端科学教育」「想像&創造教育」の4つの教育を柱に、教育と研究の歩みを進めてまいります。

「サーバント・リーダー」とは、単に奉仕的であるだけでなく、神の愛に根ざし、真実に生き、対話と共創を通して、社会に希望の道を拓く人です。すなわち青山学院のスクール・モットーである「地の塩、世の光」として生きる人です。変化と不確実性の時代であればこそ、隣人の痛みに寄り添い、多様性を尊重し、進んで責任を果たす人間の姿が求められています。そのために国際性を養い、AIをはじめとした先端科学の技術を活用し、新たな課題に協働して共創する人を育成いたします。

誰ひとり取り残されることのない、安心して共に生きる平和な世界の実現に向けて、青山学院はこれからもキリスト教に基づく教育を礎に歩み続けてまいります。

青山学院のシンボルマーク



青山学院の校章は設置学校ごとに独自のものが使われています。いずれも「信仰の盾（エフェソの信徒への手紙第6章16節）」を共通のモチーフとしており、神の守りと揺るがぬ信仰を象徴しています。